

導入企業様からの声（化粧品メーカー）

①作業効率アップにより コスト削減

1梱包に約2分かかっていた作業が、
導入後は大幅に短縮されて人件費の削減になった。

②省スペース化の実現

梱包資材のストックスペースが大幅に縮小できた。

③クレーム減少

商品がしっかり固定されるので、
破損によるクレームが減少した。

エアラップ
導入に
必要なもの



エアラップ
(60・80・100サイズの
ダンボールに対応)



専用段ボール(別売)
(60・80・100サイズ)



エアコンプレッサー
※別途ご用意下さい

商品概要	エアラップ 外形サイズ	60サイズ(370mm×300mm) 80サイズ(450mm×360mm) 100サイズ(600mm×450mm)
	材 質	LLDPE(低密度ポリエチレン)バイオマス25%以上含有
	厚 さ	40μ
	専用ダンボール(別売) 標準サイズ (縦×横×高さ)	60サイズ(270mm×200mm×130mm) 80サイズ(360mm×260mm×160mm) 100サイズ(380mm×270mm×290mm)
	ダンボール特徴	専用穴あきダンボール
	オプション	エアコンプレッサーに関するご相談を承ります

※当社は株式会社ニチワと当社が保有する特許第6408298号に関する利用許諾契約を締結し、エアラップとして当社で製造販売しております。

(お問い合わせ) _____



ご紹介動画



詳しい使い方動画

空気を使った新しい緩衝材!

air-Wrap[®]

エアラップ

今までの梱包作業の問題点

- ・梱包資材の種類が多すぎる
- ・商品の保護性が心配
- ・梱包の手間を減らしたい
- ・保管スペースがない etc...

air-Wrap[®]
エアラップ
で全て解決!

メリット1

作業効率UPによる
コストダウン
の実現

メリット2

優れた保護性

メリット3

環境に優しい
素材を使用

エアラップの特長

1 逆止弁による空気緩衝材

空気注入口が逆止弁の構造になっているため、輸送中に空気が抜ける心配はありません

2 専用段ボールで固定

専用の段ボールを使用し、封函した後に開口部から空気を注入し、商品の形に合わせてフレキシブルに固定します。

3 省スペース

使用する際に空気を入れ、更に1梱包、1枚で完結。保管スペースが非常に少なく、場所の有効活用が可能です。

4 環境に優しい

バイオマス25%含有の環境に優しい素材を使った緩衝材です。

空気を入れるだけで簡単に安全梱包！

エアラップの使い方



1 専用ダンボールに商品を入れて、エアラップをセットします。



2 専用ダンボールの開口部からエアラップの空気注入口を引き出します。



3 空気注入口を引き出したまま、ダンボールの封をします。



4 エアコンプレッサーで、空気注入口から空気を入れます。



5 ダンボール天面が少し膨らむ程度が目安です

6 空気が十分入ったところで、エアコンプレッサーを抜きます。



7 空気注入口を押し込み、ダンボール開口部を閉じて完了です。

エアラップと他の緩衝材との比較

	緩衝材A	緩衝材B	エアラップ
項目			
緩衝性能	○ 商品を緩衝材で包むため緩衝性能は高いが段ボール内で商品が動きやすい	× 隙間に緩衝材を詰めるがダンボール内で商品が動きやすい	○ エアラップに空気を注入することで天面と側面で固定する
緩衝材の使用量	△ 商品を緩衝材で包むだけの場合は使用量は少ないが、他の緩衝材を追加することが多い	△ 隙間の体積による	○ 空気の圧で商品を固定するためエアラップ1枚で済む
梱包作業の効率	× 商品を個別に緩衝材で梱包するので手間がかかる	△ 隙間により緩衝材の使用量が変わるためスピードや使用量に個人差が出る	○ エアコンプレッサーで空気を注入して商品を固定するため個人差が生じにくい
価格	△ 普通 (使用材料による)	○ 安い	× 高い

※上記の比較は当社作業比で、作業内容や作業方法により変化します。